

# スタジオ21 Dub1 紹介ギャラリー

システムと建築の両面から「より自然でリアルな音の再現」を実現

これまで日本の映画製作において積み重ねられてきた音響作りの根幹を大切にしながらも、新たなシネマ音響の可能性を考えドルビーアトモスを日本で初めてダビングステージに導入。劇場内のどの位置でも音を精密に配置、移動させる、まさに「より自然でリアルな音の再現」を実現。



音の反射や抵抗がほとんど無いスクリーンエクセレンス社のファブリック製シネマスクリーンを日本で初めて導入。オリジナルの音質を損なわないことに定評があるだけでなく、映像も美しく映るこのスクリーンは「Akira Kurosawa Studio」をはじめ世界の各メジャースタジオで採用されています。

天井と壁に32本の東映オリジナルのカスタムメイドスピーカーを設置し、Dub1は三次元的な音響表現を可能にするドルビーアトモスのためにゼロから設計されました。更に全スピーカーを同一ユニットにしたことで、圧倒的なレンジの音圧と周波数帯域でのミックス環境を実現。



最適な吸音と拡散のバランスを求め、QRS型 &MLS型ハイブリッドディフューザーを採用。

DF70コア搭載のコンソール System 5

明るく、開放的なDub1、Dub2専用ロビー



Dub1、Dub2とデジタルセンター棟内のMAルームを合わせて劇場用作品とテレビ作品それぞれ2作品が同時にミックス可能。

■お問合せ

TEL: 03-3867-5010

東映株式会社 デジタルセンター ポスプロ事業部

TOEI DIGITAL CENTER  
東映 デジタルセンター

